

次へ伝えたいこと
それからというものの、私は職人として、いつか必ずライトを越えることを目指してやってきました。今でも、そう思っています。しかし、一度も、ライトを越えることはできていません。もしかしたら、一生無理なのかもしれないですが、ライトを越えることが私の究極の目標なのです。それと同時に、自分たちの培ってきた技術や職人としての思いや魂を、次の世代に伝えていくことも、大切なことです。いくら美しく刻む技術を身に着けても、そこに職人としての思いや魂が込められていなければ、良い作品は生まれません。私は時々、地元で学校の講師で招かれることがあり、子どもたちの感性の豊かさに驚かされますが、きっと、子どもだけでなく、人は誰でも素晴らしい感性や感覚を持っているのだと思います。自分ではそれに気が付いていないだけなのです。

あなたの意見をお寄せください

市民の皆さんから、「大谷」についての意見・提案をお受けします。寄せられた意見・提案などは、施策の参考とします。なお、一部を後日、広報紙で紹介いたします。質問などへの回答は、直接本人あてに返信しますので、ご了承ください。

下のはがき(切手不要)を切り取り、3月17日(月)までにポストに投函してください。他のはがきや手紙・ファクス・Eメール・市ホームページのアンケート(携帯サイト含む)でも受け付けます。

送付先 〒320-8540市役所総合政策部広報広聴課
☎(632)2025、☎(639)0627
Eメール:u2030@city.utsunomiya.tochigi.jp



▲携帯サイト用QRコード

広報うつのみやプラス「大谷」についての問い合わせ先
経済部観光交流課
☎(632)2436、☎(632)5420
Eメール:u2315@city.utsunomiya.tochigi.jp



石工・大谷石彫刻家
渡邊 哲夫さん

大谷石は名脇役

私は、大谷石の最大の魅力は、何かと一緒に存在することで、相手を引き立たせ、かつ、大谷石自体も魅力を放つところだと思います。決して出しやばらず、謙虚で控えめ。でも存在感はしっかりとある。大谷石はそんな石なのです。

アメリカの巨匠、フランク・ロイド・ライトによって、旧帝国ホテルの建材として大谷石が使われました。旧帝国ホテルはライトの傑作・大谷石のレリーフと、その周りのテラコッタ(建築陶器)や木材、家具などと一緒に存在したからこそ、重厚で格調高い玄関を持つ、明治を代表する建築物になったのだと思います。



石の里・大谷からの熱き思い

ドラマを味わい深いものにする「名脇役」と呼ばれる人がいますが、大谷石はまさに、名脇役なのだと思います。

石の神様の声

私が28歳の頃、旧帝国ホテルの中央玄関部分の移築、修復を手がけました。当時は、私はまだ若く、自分の未熟さなど考えもしないで、意気揚々とライトの傑作に挑みました。しかし、すぐに壁にぶつかり、自分の未熟さを痛感しました。連日連夜、深夜まで仕事をしましたが一向に進まず、次第に肉体的にも精神的にも追い込まれていきました。ある夜、時間を忘れて仕事をしていたとき、私は石の神様の声を聞いたのです。

信じられないかもしれないですが、何とも優しく、落ち着きのある女性の声で「慌てなさんな」と。後にも先にも、こんな体験をしたのはこの一回だけです。それが、肩の力が抜け、この大仕事に取り組みることができました。このライトの作品に出会えたことが、私の原点なのです。



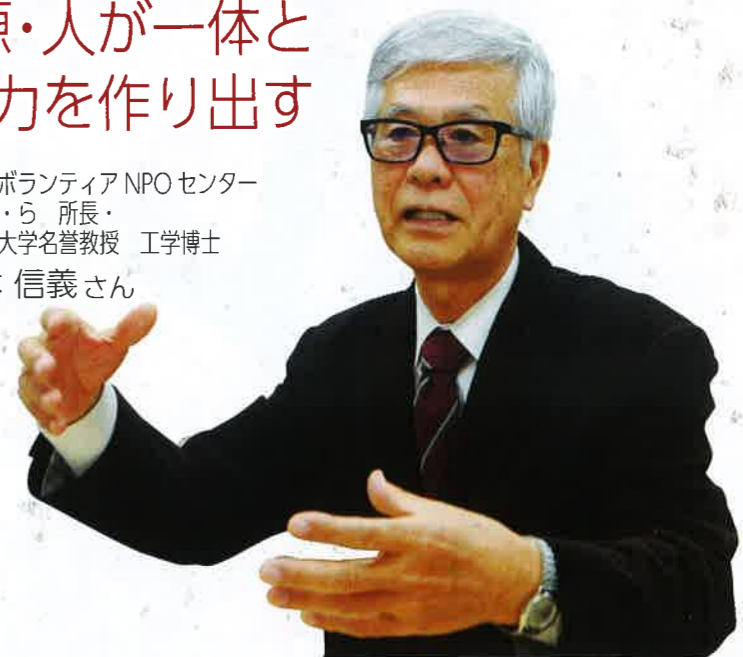
大谷石のオブジェ
(藤本・渡邊共同製作)



地域・資源・人が一体となって魅力を作り出す

組み合わせで発展

「組み合わせの妙」という言葉がありますが、まさに大谷石にぴったりの言葉ではないでしょうか。大谷石には、他の素材を引き立たせる力と、他の素材と相まって自らも光り輝く力があります。大谷石と「もとの・食べ物・空間」など、何を、どんな風に組み合わせるかで、新たな可能



とちぎボランティアNPOセンター
ぼ・ぼ・ら 所長・
宇都宮大学名誉教授 工学博士
藤本 信義さん

性が生まれます。フランク・ロイド・ライトによって使用された旧帝国ホテルの大谷石は、テラコッタとの組み合わせでした。

また、大谷石造りの建築物の内部は独特の雰囲気があり、何か心地よくつるがる空間です。そんな大谷石の空間は、ステージ発表やダンス、ファッションショーなど、さまざまなイベントにも活用できます。大谷石をいろいろな形で組み合わせ、それを発信していくことが、魅力の発展につながると思います。

若い世代を育てる

地元の中学校で、石彫りの体験活動を行っています。その際に、大谷石はライトが旧帝国ホテルに使用したことや有名になったことなど、歴史についても話をしています。体験だけでなく、成り立ちも知ることで、若い世代にも自分の住んでいる地域には、こんなに素晴らしいものがあることを誇りに思ってもらいたいです。

これからの大谷

宇都宮のまちなかにも大谷石造りのものがたくさんあります。それらがまちなかにさらに増えれば、宇都宮の魅力はもっと増していくでしょう。新たな

な大谷石の建築物を造れる職人もいますし、建築物を案内できるガイドが増えれば、観光スポットとして、より発展していくと思います。また、子どもたちにも、大谷石が自分たちの生活の中に、身近に使われていることを伝えることも大切です。

石工の技術の伝承はとても重要ですが、一番大切なことは、地元の人たちが大谷のすばらしさに気付き、誇りを持つことではないでしょうか。今後、多くの人が大谷地区に来てくれることが、この地域の発展につながります。そして、訪れた人たちに、大谷の魅力をおすすめするということも大切です。気持ちは、これからの大谷の発展には欠かせないことだと思います。

アイデア通信

大谷について私はこう考えます

① どのような取り組みがあると「大谷に行ってみよう」と思いますか。(複数回答可)

- 1 バスなどの公共交通機関の充実
- 2 自動車で行く場合の駐車場の充実
- 3 スマートフォンなどを用いた情報発信の充実
- 4 大谷地区を周遊するレンタサイクルの整備
- 5 ガイド案内付き大谷ウオーキングツアーの実施
- 6 大谷の見所を巡ることができるマップなどの充実
- 7 食事やスイーツ、お土産などを提供する飲食店などの充実
- 8 大谷周辺のお薦め観光スポットなどを組み合わせたツアーの実施
- 9 その他

② 大谷に多くの観光客が来るために必要なことは何だと思いますか。